

つながりの中で、本気で学ぶ子どもの育成

～ 学校・家庭・地域の協働を通して個を鍛える ～
 — アクティブ・ラーニングを取り入れた能動的な学びの創造 —

綾部市立中筋小学校

全国学力・学習状況調査の結果における特徴

平成28年度 全国学力・学習状況調査結果平均正答率

本校の結果は、国語、算数のA、B問題ともに、右の表に示す市の平均正答率（以下、平均）を上回っている。

学習指導要領の領域、評価の観点、問題形式の分類別の結果は、すべて全国、府の平均を上回っている。問題別の結果は、全54問のうち、53問が全国平均を、52問が府平均を上回っている。また、無回答が見られた問題数は少なく、無回答率も低い状況である。

	綾部市	京都府	全国
国語A	77.7	74.2	72.9
国語B	68.0	59.4	57.8
算数A	86.6	79.9	77.6
算数B	58.8	48.6	47.2

全国学力・学習状況調査の結果に寄与したと考えられる取組

研究について

授業と家庭学習の循環、学校・家庭・地域のつながりを重視した5つのプログラムを展開し、質の高い学力の向上を目指した。

本校では、子どもを取り巻く学校・家庭・地域の大人が1つのチームになり、それぞれの立場で子どもの成長にかかわることを「チームアプローチ」ととらえている。毎週水曜日に、各校務分掌から様々な情報を研究だよりで発信し、同じ思いや願いをもって子どもを育てられるようにした。

授業における取組

研究構想や授業の工夫についての発信

社会教育や地域活動の様子

保護者の皆様の声を紹介

授業づくりプログラム

算数科を中心に、主体的、協働的に学ぶ課題解決型授業を展開した。

★単元スケジュール★

授業・モジュール・家庭学習の時間を一つのサイクルととらえ、単元の指導スケジュールを作成して学習の好循環を図った。学習の進度に合わせた課題設定や宿題作成を行い、児童の理解を深めることや学習内容の定着につなげた。

「ナビつ〜る」や教科書の問題、自作プリントなどを活用

日にち	5/15(日)	5/18(月)	5/17(火)	5/18(水)	5/19(木)	5/20(金)	5/21(土)
授業・家庭学習		【3/13】 ・整数×分数の計算の仕方	【4/13】 ・分数×分数の計算の仕方	【5/13】 ・小数のかけ算の筆算	【6/13】 ・筆算の0の処理	【7/13】 ・被乗数と積の大小関係	【8/13】 練習
わく算					もっと練習①	もっと練習②	ナビつ〜る①
宿題	練習プリント①	練習プリント②	練習プリント③	練習プリント④	練習プリント⑤	練習プリント⑥	練習プリント⑦
日にち	5/22(日)	5/23(月)	5/24(火)	5/25(水)	5/26(木)	5/27(金)	5/28(土)
授業・家庭学習			【9/13】 ・長さが小数の面積	【10/13】 ・長さが小数の体積	【11/13】 ・小数倍	【12/13】 たしかめしよう	
わく算			全校わく算	全校わく算	ナビつ〜る②	習性プリント	
宿題	小數プリント	小數プリント	習性プリント	習性プリント	小數プリント	小數プリント	小數プリント

★指導形態★

学級、TT、学級・学年少人数（均等・習熟度別）など、児童の実態や学習内容に合わせて指導形態を工夫し学力の定着を図った。

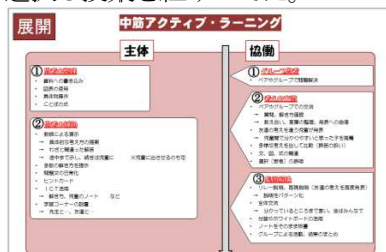
- 習熟の程度が高いコース
- 習熟の程度が中程度のコース
- 習熟の程度が低いコース



第6学年「場合を順序よく整理して」合グループ
 学級担任と小中連携加配によるTT

★中筋アクティブ・ラーニング★

教師がもつアイデアや経験を出し合い、児童がアクティブに学びに向かう指導の手立てと工夫をまとめた。児童の実態や学習内容と照らし合わせ、より有効なものを選択し授業を組み立てた。



展開の過程における中筋アクティブ・ラーニング

★中筋チェック★

授業のまとめの後に位置付け、自力で問題が解けるかどうかを確かめさせた。教師は結果を把握し、すべての児童が「分かる」ための授業改善や補充の指標とした。

★全校わく算★

月2回、モジュールの時間に実施し、計算力の定着を図った。



放送の合図で
 全校一斉に開始

授業以外における取組

子どもの「学習の基盤」を固め、「学びに向かう意志」を強めるための取組を実施した。また、様々ななかかわりの中で、人間関係を確立したり、それを円滑に維持したりできるようにするための取組も実施した。

教職員と保護者、地域の人々がつながり、「目指す子ども像」を共有しながらそれぞれの持ち場で子どもをはぐくむことができるように、積極的な情報発信をする活動を行った。

地域連携プログラム

★中筋子どもクラブ★

児童の居場所づくり、交流や体験活動を充実させていただいた。定例会議で児童に付きたい力を確認するなど、協力体制を築いてきた。



★中筋ふるさと探検隊★

公民館が主体となって、児童に様々な体験をさせていただいた。教師も可能な範囲で一緒に参加し、校区を学ぶ機会とした。



「自然と友達」
川遊び・魚取り
「中筋歴史探検」
甲ヶ岳登山
「学ぼう、災害のこと」
防災センター見学
「絵本で伝える中筋」
町区のおゆれ 等

★ことばで表現★

プレゼントや暑中見舞など、全学年がお世話になっている方々に気持ちを伝える活動を行った。2月の「ありがとう集会」では、児童が手書きの招待状や礼状を送付した。



子ども見守り隊さんにアサガオの苗を贈呈

★放課後児童学級★

担当者を中心に連携し、家庭学習や学習習慣の定着など児童の放課後の過ごし方に配慮いただいた。

算数だよりのお届け



家庭連携プログラム

★保護者の願い★



保護者の子どもにかける思いを把握し、学年だより等を通じて共有した。学校と家庭で協力し子どもを育てられるようにした。

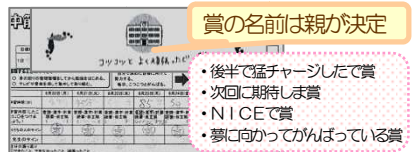
★算数だより★

学年ごとに、学習内容や家庭学習時のポイントを示したたよりを発行した。親子で学びを深めるツールとして活用していただいた。



★中筋チャレンジ★

日常編では、家庭学習習慣と基本的な生活習慣の確立を目指した。全学年に「親子であいさつをする」「今日の出来事を親に話す」の項目を入れ、コミュニケーションの素地を養っていただいた。



賞の名前は親が決定

- ・後半で猛チャージしたで賞
- ・次回に期待します賞
- ・NICEで賞
- ・夢に向かってがんばっている賞

家庭学習強化週間(中学校のテスト勉強期間編)

基盤づくりプログラム

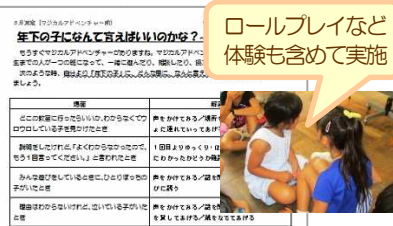
★重点目標★

重点目標を設定し、全教職員で一貫した指導を行った。特に4月は「学びの基盤づくり」の研修を行い、年度当初の指導のポイントを確認した。

- 5月 指導の重点目標
学習に向かう姿勢を整えよう
- 授業中は、静かに手を挙げ、あてられてから大きな声で返答をする。
 - 授業中に発言をする時は、椅子を空けず、椅子の横に立つ。
 - テスト(前編・後編)に本気で取り組む。
 - 時計を見て行動する。
 - 静かに朝読書をする。
 - ていねいな態度で話す。
- 全てのチェック項目において、各学年、各学級で繰り返し練習し、4月 前期の重点目標の振り返りより、
□ 「読む」の項目を達成できなかった児童、
□ 達成できなかった児童の振り返りを行う。(目標を達成する。)

★ソーシャルスキルトレーニング★

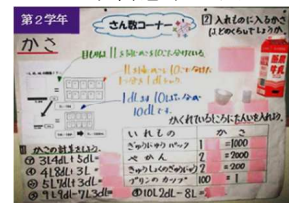
「児童が属している集団(学校、学級、登校班、異年齢班等)の中で求められている適切な行動がとれる技能」が身に付くように、学校行事等に合わせて実施した。



ロールプレイなど体験も含めて実施

★算数コーナー★

各学年で、身の回りの問題やクイズなどを工夫して掲示し、算数科における学習意欲の向上を図った。



★読書活動★

児童一人一人が、自ら学び考える力ををはぐくむために、朝読書をはじめ読書活動を充実させた。



市図書館司書
民生委員
読書ボランティア
教職員 等

教師力向上プログラム

★各種研究会★

校内理論研、講師招聘研、先進校視察を通して、様々な指導方法を学んだ。本校の実態に合う基盤づくりや授業づくりに活かしていった。

研究の心構え

一人一人が研究者であり実践者

I LOVE 中筋 チーム丸

★学力充実対策★

ロングやショートで学力充実研を開催し、学力テストの弱点問題を解いたり、児童のつまづきについて分析したりした。積み上げの重要性を改めて確認でき、日頃の丁寧な指導へとつながった。

★小中一貫教育★

3小1中学校の教師が、共通の教育目標のもと、授業を見合うなどして指導方法の工夫改善を行ってきた。本校では、小中連携加配教員が高学年の算数科の授業にT・Tとして入り、指導の充実を図った。